

夏合宿巡検記

まくらさん

私たち鉄道研究部は、7月28日から7月31日まで、東北方面にて夏合宿を行いました。その記録をまとめましたのでご覧いただければ幸いです。

7月28日（会津若松→新津→新潟）

私たちは会津若松駅に集合し、新潟県の新津駅までSLばんえつ物語に乗車しました。このSLばんえつ物語ですが、本来その名の通りSLで運行している列車です。しかし、今回そのSLが故障してしまっていたため、代理としてディーゼル機関車に引っ張られ、私たちは新津を目指すことになりました。ちなみに、私たちが乗った客車の車両番号はオハ12でした。

客車の窓からは、目いっぱい広がる畑と大きな空、深緑を纏う山々が見えました。それらを目で追ったり寝たりしている間に新津駅到着です。

新津駅に到着後、信越本線に乗り換え新潟駅へ到着しました。ここで一日目の行程は終了です。



7月29日（新潟→酒田→新庄→秋田→土崎）

翌12日は、新潟駅から山形県の酒田駅まで快速きらきらうえつ号に乗車しました。車両は国鉄の485系が元になっているのですが、とてもそうは思えない魔改造ぶりで目から鱗が落ちました。海岸沿いの景色がきれいな場所では徐行運転してくれました。ところが、そんな気配りにも気づかず寝息をたてている部員もいたようです（笑）。さてその後は、陸羽西線で新庄駅へ。新庄駅でE3系を撮影した後、奥羽本線で秋田駅へと向かいます。秋田駅周辺で夕食をとり、バスを使ってホテルへ。そこで私たちは入浴と睡眠をとることになります。



7月30日（秋田総合車両センター→土崎→秋田→弘前→大鰐温泉）

この日には秋田総合車両センターの見学という一大イベントがありました。自分の背丈より大きいモーターやトラバサ、何やら分解されているディーゼル機関車、見慣れた黄色いラインのE231、ED75形電気機関車なども見ることができました。また、羽越本線

脱線事故に代表されるような事故が二度と起きないようにとその詳細が教訓として展示されており、センターの皆さんが持つ熱意を感じることができました。

その後は土崎駅から秋田駅に戻り、一旦秋田駅周辺で昼食をとった後快速リゾートしらかみ号・くまげら編成に乗車。弘前駅まで約5時間の旅でしたが、気動車（これもキハ48系の魔改造でした）だということを忘れさせるような快適な走りでした。途中、千畳敷駅と深浦駅という海から目と鼻の先にある駅で長時間停車。さすがに海で泳いだりはしませんでした。気持ちのいい潮風を浴びることができました。海に手を入れてみましたが、ぬるかったので泳ぐ分にはちょうどよかったです。そしてその5時間も気が付けばあっという間に過ぎ去り、弘前駅に到着です。弘前駅からは奥羽本線に乗って大鰐温泉駅に向かい、その後は夏合宿最後の夜を過ごす旅館まで送迎バスに揺られることになります。



7月31日（大鰐温泉→土崎）

夏合宿最終日、朝7時ごろという早い時間に起床した私たちは大鰐温泉駅へ赴き、奥羽本線で再び弘前駅へ。この弘前駅で2018鉄道研究部夏合宿は解散となりました。その後は、それぞれ北海道に行ったり、東北をぶらぶらしたり、ジオコンの準備するため直帰したりしました。



実は昨年の東北方面への夏合宿は豪雨により2日目で中止となってしまったので、今回の合宿にはその意趣返しという一面もありました。結果として2018夏合宿は成功だったので、そのリベンジは十分果たせたのではないかなと思います。

最後に、実はこの旅行記には紙面の都合上により書ききれなかったことが多いことを記しておきます（特に秋田総合車両センターについて）。そこで、鉄道研究部公式ブログ（<http://railwayclub.blog110.fc2.com/> または「早大学院鉄研 公式ブログ」で検索）に詳細が記録されていますので、そちらの方も是非アクセスしてみてください。